

佐倉アクティブ「データサイエンス入門」

8月4日(金)に佐倉アクティブ「データサイエンス入門」が行われました。この講座は、総合コンサルタント企業アクセンチュア株式会社の社会貢献プロジェクトと NPO 法人企業教育研究会の協力で開講されました。3月28日(火)に本校で試験的に実施したところからプロジェクトが始まり、改良した上で今回の本格的な実施となりました。現在は他県の学校でも実施されているようです。

今回参加したのは1・2年生の普通科15名、理数科15名の計30名です。内容は30名を2つのパークに分け、パークごとにフード・商品・イベントの3つの部門に分かれ、データを分析して遊園地の再建計画を練るというものでした。夏休み直前に事前学習会として、企業の説明や講座の概要の動画を視聴し、事前学習資料を用いて予習を行い、グループ分け・役割分担・パーク名決めなどを行って、グループワークしやすい状況を整えていました。

講座の1時間目は復習として講座の概要や伸ばしたい能力などを確認し、個人作業として遊園地の各課題の要因仮説の優先度付けを行いました。

2時間目は検証方法の設定を行いました。様々なグラフの特長についてレクチャーを受け、グループで選んだ各仮説に対して2つずつ用意されたグラフのどちらが分析に適しているのか、個々で考え、グループで共有し、分析の材料を揃えました。パークを跨って同部門で集まって発表も行いました。

3時間目はデータの読み取りと施策の選択を行いました。グループごとに分担してグラフの読み取りを行い、講師からのフィードバックを受け、分析の修正を行いました。どの層向けに施策を用意すべきかも話し合いました。

4時間目は分析・考察結果を合わせて、グループごとに発表前の確認や準備を行い、論理的にプレゼンを組み立て、パーク内で各部門の発表を行いました。客層や客単価、非日常性、性別や世代ごとの客が求める要素など、たくさんの項目を客観的に考えプレゼンすることができました。この施策でいくらの増収が見込めるかを具体的に計算しているグループもありました。

講座の最後にどちらのパークがより売り上げを伸ばすことができたのか、シミュレーションの結果が発表されました。アンケートの結果からは、今回の講座を通して、特に発信力や協働で学ぶ力が向上したことが分かりました。



SSH 活動掲示板は これまでの SSH 通信は
こちら↓ こちら↓

